

- 問1 1881年、明治政府が「国会開設の勅諭」を出して10年後の国会開設を約束したことを受け、板垣退助を党首として結成された、日本で最初の本格的な政党は何ですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 日本社会党 2. 立憲改進黨 3. 自由党 4. 立憲政友会
-
- 問2 1871年に出發した岩倉使節団に、日本初の女子留学生の一員としてわずか6歳で随行し、帰国後に「女子英学塾」を創設して日本の女子教育の発展に貢献した人物は誰ですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 与謝野晶子 2. 津田梅子 3. 平塚らいてう 4. 市川房枝
-
- 問3 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容と、その当時の日本国内の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. ロシアから賠償金を得ることができなかったため、重税に苦しんでいた国民の間で日比谷焼打ち事件などの暴動が起きた。
2. ロシアから多額の賠償金を得たことで、政府は八幡製鉄所の建設などの産業発展に資金を投入した。
3. 遼東半島の租借権をロシアに返還することになり、国民の間で三国干渉に対する不満が再燃した。
4. 朝鮮半島における日本の優越権をロシアが拒否したため、日本国内では戦争継続を求める世論が強まった
-
- 問4 1889年2月11日に、天皇が国民に与えるという形式で発布された日本最初の近代憲法を何といいますか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 日本国憲法 2. 十七条の憲法 3. 五箇条の御誓文 4. 大日本帝国憲法
-
- 問5 明治時代初期の1882年ごろには、輸入額の上に綿布や綿糸といった加工品が含まれていましたが、1890年代後半になると、それらに代わって「綿花」が輸入額の約20%を占める筆頭項目となりました。このような貿易品目の変化が示した、当時の日本の状況として最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 国内での綿花の栽培が盛んになったため、不足分のみを補う輸入体制に変化した。
2. 欧米諸国から安価な綿製品が大量に流入したため、国内の綿織物業が衰退した。
3. 軍事力の強化を優先し、軍服の材料となる羊毛の輸入を綿花の輸入よりも制限した。
4. 国内の紡績業が発達したことで、原料を輸入して製品を輸出する貿易構造に変化した。
-
- 問6 19世紀末から20世紀前半にかけて、日本は近代化を進め国際社会での役割を広げていきました。この時期の出来事である「板垣退助による自由党の結成」「野口英世の義和団事件での医療活動」「新渡戸稲造の国際連盟事務次長への就任」を、発生した時期の古い順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 国際連盟事務次長への就任 → 自由党の結成 → 義和団事件での活動
2. 義和団事件での活動 → 自由党の結成 → 国際連盟事務次長への就任
3. 自由党の結成 → 国際連盟事務次長への就任 → 義和団事件での活動
4. 自由党の結成 → 義和団事件での活動 → 国際連盟事務次長への就任
-
- 問7 1911年、孫文が指導し、清を倒してアジアで最初の共和国である中華民国を成立させた革命を何といいますか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 太平天国の乱 2. 辛亥革命 3. 義和団事件 4. 五・四運動
-
- 問8 明治時代後半の1906年、政府は主要な私設鉄道を買い上げる「民鉄の国有化」を行いました。当時の日本政府が、経済的な必要性和ともにこの政策を急いだ主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 全国の鉄道をすべて電化することで、エネルギー源を石炭から電力へ切り替え、都市部の公害問題を解決するため
2. 欧米諸国からの強い要求により、日本の鉄道網を国際基準の広軌（広い線路幅）に統一する資金を確保する必要があったため
3. 日露戦争の経験から、大規模な兵員や軍需物資の輸送を効率化し、軍事的な指揮系統を一元化する必要があったため
4. 官営工場の払い下げによって不足した政府の収入を補うため、利益の大きい私設鉄道を国の財源にする必要があったため
-
- 問9 明治時代の政治家について述べた以下の条件のうち、「岩倉使節団に参加している」「大日本帝国憲法が発布されるより前に政党を結成していない」「初代内閣総理大臣に就任している」のすべてを満たす人物の事績として適切なものを選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 土佐藩出身で自由民権運動を指導し、日本最初の政党である自由党を結成して国会の開設を政府に求めた。
2. 参議として政府の中樞にいたが、明治十四年の政変で政府を去り、立憲改進黨を結成してイギリス風の議院内閣制を主張した。
3. 薩摩藩出身の実力者として使節団に参加したが、帰国後は内政の充実に努め、内閣制度が整う前に暗殺された。
4. 木戸孝允の随行員として欧米を視察し、後にヨーロッパで憲法を学び、政府側で官僚機構や憲法の整備を主導した。
-
- 問10 1885年に内閣制度が創設された際、初代内閣総理大臣に就任した伊藤博文とともに、初代外務大臣として不平等条約の改正交渉に臨み、欧化政策を推進した人物は誰ですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 小村寿太郎 2. 井上馨 3. 陸奥宗光 4. 板垣退助
-
- 問11 1905年、アメリカの仲介によって日露戦争の講和条約であるポーツマス条約が締結されました。しかし、この条約の内容に不満を持った人々が東京の日比谷公園で集会を開き、警察署や新聞社などを襲撃する暴動へと発展した事件を何といいますか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 日比谷焼き討ち事件 2. 柳条湖事件 3. 五・一五事件 4. 米騒動
-
- 問12 ポーツマス条約の締結直後、日本国内で「日比谷焼打ち事件」に代表されるような激しい国民の反発が起こった直接的な理由として、最も正しい説明はどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. ロシアとの交渉において、日本の最優先事項であった韓国（大韓帝国）の独立を認める項目が盛り込まれたから。
2. 多大な戦費を費やし多くの犠牲者を出したにもかかわらず、ロシアから賠償金を得られない内容で調印したから。
3. 講和を仲介したアメリカに対し、日本が賠償金の一部を支払うという不利な条件を受け入れたから。
4. 戦争の継続を望む国民に対し、政府が一方向的にロシアと停戦合意を結び、すべての占領地を返還したから。
-
- 問13 明治時代後半、紡績業の発展により綿糸が有力な輸出品となったことは、日本の産業構造にどのような変化をもたらしましたか。当時の背景を踏まえた説明として最も適切なものを選んでください。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 官営模範工場の払い下げをきっかけとして、鉄鋼業などの重工業が輸出の主力となった。
2. 関税自主権が完全に回復したため、安価な外国産綿糸の流入が法的に制限され、国内産業が保護された。
3. 綿花の国内栽培が奨励されたことで、農業が再び輸出産業の主軸としての地位を取り戻した。
4. 軽工業を中心とした産業革命が進展し、手作業による生産から機械を用いた大規模な生産へと移行した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 自由党	明治十四年の政変により、政府は1890年に国会を開設することを公約しました。これを受けて自由民権運動は政党結成の動きへと進み、板垣退助を中心とした土族や豪農らがフランス流の自由主義を掲げてこの政党を組織しました。大隈重信が結成した立憲改進黨とは、支持層や手本とした国の思想が異なります。
問2	答え 2 津田梅子	岩倉使節団に最年少の留学生として参加し、アメリカで約11年間教育を受けました。帰国後、当時の日本における女子教育の遅れを痛感し、女性の自立と地位向上には高度な教育が必要であるという考えから、1900年に現在の津田塾大学の前身となる女子英学塾を設立しました。
問3	答え 1 ロシアから賠償金を得ることができなかったため、重税に苦しんでいた国民の間で日比谷焼打ち事件などの暴動が起きた。	ポーツマス条約では、韓国（大韓帝国）における日本の指導権の承認や、樺太の南半分割譲、長春以南の鉄道利権などは認められましたが、期待されていた賠償金は得られませんでした。多大な犠牲と重税に耐えてきた国民は、この結果に強く反発し、東京の日比谷焼打ち事件をはじめとする激しい抗議活動を行いました。
問4	答え 4 大日本帝国憲法	明治政府は近代国家の枠組みを整えるため、プロイセン（ドイツ）の憲法を参考に作成を進めました。1889年に発布されたこの憲法は、主権が天皇にある「欽定憲法（きんていけんぽう）」としての性質を持っています。1946年に公布された日本国憲法と混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 4 国内の紡績業が発達したことで、原料を輸入して製品を輸出する貿易構造に変化した。	明治時代、大阪紡績会社などの設立によって機械による綿紡績業が急速に発展しました。これにより、それまで輸入に頼っていた綿糸や綿織物を国内で自給できるようになり、1890年代には製品を輸出するまでになりました。その結果、貿易の形態は「製品を輸入する」形から、「原料である綿花を輸入し、加工した綿製品を輸出する」という加工貿易の先駆けとなる形へと変化しました。
問6	答え 4 自由党の結成 → 義和団事件での活動 → 国際連盟事務次長への就任	板垣退助が日本初の政党である自由党を結成したのは、自由民権運動が激化した1881年（明治14年）のことです。その後、1900年（明治33年）に清で発生した義和団事件に際して、野口英世が医官として現地で活動しました。第一次世界大戦後の1920年（大正9年）に国際連盟が設立されると、新渡戸稲造がその事務次長に就任し、「太平洋の橋」となるべく尽力しました。したがって、自由民権運動、明治後期の国際紛争、大正期の国際協調という流れになります。
問7	答え 2 辛亥革命	孫文は「民族の独立・民権の伸長・民生の安定」を掲げる三民主義を唱え、清の専制政治を倒して国民が主権を持つ近代国家の建設を目指しました。この革命によって長年続いた皇帝政治に終止符が打たれ、アジアにおける近代化の大きな転換点となりました。
問8	答え 3 日露戦争の経験から、大規模な兵員や軍需物資の輸送を効率化し、軍事的な指揮系統を一元化する必要があったため	日露戦争当時、日本の鉄道は官営と多くの私設鉄道が混在しており、会社ごとに車両やダイヤの運用が異なっていたため、大規模な兵員輸送に支障をきたしました。この経験から、国家が鉄道を一元管理することで、有事の際の迅速な輸送体制（軍事上の目的）を整えるとともに、国内の物流を円滑にして産業を発展させることが急務と考えられました。
問9	答え 4 木戸孝允の随行員として欧米を視察し、後にヨーロッパで憲法を学び、政府側で官僚機構や憲法の整備を主導した。	伊藤博文は、板垣退助（自由党）や大隈重信（立憲改進黨）などの野党勢力が政党を結成して民権運動を進めたのに対し、一貫して政府側の立場から近代的な国家機構の構築にあたりました。特に、君主権の強いドイツ流の憲法を学ぶことで、天皇を中心とした統治体制を整え、内閣総理大臣としてその運用を担いました。他の選択肢はそれぞれ板垣退助、大隈重信、大久保利通の事績を指しており、提示された3つの条件をすべて満たすことはできません。
問10	答え 2 井上馨	伊藤博文が初代内閣総理大臣を務めた第一次伊藤内閣において、外務大臣に就任したのが井上馨です。井上は条約改正を有利に進めるため、鹿鳴館を建設して外国使節を接待するなど、日本の近代化をアピールする欧化政策を強行しましたが、改正には至りませんでした。
問11	答え 1 日比谷焼き討ち事件	日露戦争の講和会議では、日本はロシアから韓国（大韓帝国）に対する指導権や樺太の南半分、満州の権益などを得ました。しかし、国民が強く期待していた賠償金の獲得には至りませんでした。戦争による重税や出征に耐えてきた民衆は、この結果に激怒し、東京の日比谷公園での集会をきっかけに大規模な暴動を引き起こしました。これがきっかけで、当時の桂太郎内閣は総辞職に追い込まれました。
問12	答え 2 多大な戦費を費やし多くの犠牲者を出したにもかかわらず、ロシアから賠償金を得られない内容で調印したから。	日露戦争は、それまでの日本の国力からすれば限界に近い戦費と動員数を投じた戦争でした。国民は生活の困窮に耐えながら戦争を支持していましたが、最終的な講和条件に賠償金の支払いが含まれなかったことで、期待していた生活の立て直しや増税の緩和が絶望的になったと感じ、政府への不満が爆発させました。
問13	答え 4 軽工業を中心とした産業革命が進展し、手作業による生産から機械を用いた大規模な生産へと移行した。	1880年代後半から1890年代にかけて、日本は紡績業などの軽工業を起点に産業革命を迎えました。それまでの手作業や家内制手工業から、動力機械を用いた工場制機械工業へと生産体制が大きく変化したことで、綿糸の大量生産が可能になりました。この生産力の向上こそが、綿糸を輸入依存の製品から主要な輸出製品へと変貌させた最大の要因です。